

S S T L

NO.86 24.11.4

# 職場参加ニュース



共に働く街を創るつどい2024

職場参加の灯を受け継いでゆくために

あらためて **ごちゃごちゃと関りを**

12月8日(日) 13:00-16:30 (12:30開場)

越谷市中央市民会館5階 第4、5、6会議室

資料代: 会員500円 非会員600円

**第1部 現場報告:**

大塚真盛さん(当法人新代表理事、元特別支援教育教員)

「分けられた者同士が地域・職場で出会うとは」

山崎泰子さん(就労継続B型せんげん台世一緒職員)ほか

「職場参加のバトンをどのようにつないでゆくか」

**第2部 ワークショップ「職場参加の灯を受け継いでゆく**

—もやもやの中にヒントを探る—

**全体進行: 朝日雅也さん (埼玉県立大学名誉教授)**

手話通訳: 依頼予定

連絡先: 職場参加ビューロー世一緒

〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101

048-967-1819 (FAX 共 7回コール要) [shokuba@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp)



## 共に働く街を創るつどい2024 開催要項

名称：共に働く街を創るつどい2024

テーマ：「職場参加の灯を受け継いでゆくために  
あらためて ごちゃごちゃした 関りを探りたい」

日時：2024年12月8日(日) 13:00-16:30 (12:30開場)

場所：越谷市中央市民会館5階 第4、5、6会議室  
〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目1番1号 048-966-6622  
越谷駅東口徒歩7分  
地下駐車場がありますが、台数に限りがあるので、できるだけ公共交通機関を  
資料代：会員500円、非会員700円

趣旨：「障害者の職場参加」は、障害者が支援を受けて職場に参加してゆくということだけではなく、職場、地域が障害者等と出会うつきあうて行くという意味での「参加」、こうした双方向の取り組みです。

また、「就労」、「雇用」とくくるのではなく、あえて「職場参加」という表現を以て、職場実習や職場体験、職場見学、そして職場、地域の方々とのおつきあいなど、日常の小さなつきあいを含めた多方向の関りを探ってゆきます。

そうすることで、職業準備性(労働能力など)に縛られない出会いとかかわりを広げながら、障害福祉サービスやハローワーク等の雇用支援策も活かしていきます。そういうことが「ごちゃごちゃした 関り」の中身です。

「ごちゃごちゃ」とあえて言うのは、たとえば障害福祉サービスや雇用支援策は、職業準備性に応じて利用が制限されているなど、ハードルがたくさんある中での活動だからです。ハードルと向かい合いながら、時に応じて回り道や引き返すこともある中で、対話と協同と工夫を重ねることを基本として、やわらかに地域を編み直してゆきたいのです。

小さな歩みですが、国連が日本政府に投げかけた「すべての障害者を開かれた労働市場へ」という勧告へ、この埼玉、越谷からの具体的な応答を続けたいと思います。あなたも、どうぞ「ごちゃごちゃした 関り」に加わっていただけませんか。

- 1) 現場報告：大塚眞盛さん(当法人新代表理事、元特別支援教育教員)  
「分けられた者同士が地域・職場で出会うとは」  
山崎泰子さん(就労継続B型せんげん台世一緒職員)ほか  
「職場参加のバトンをどのようにつないでゆくか」
- 2) ワークショップ「職場参加の灯を受け継いでゆく—もやもや、ヒントほか」  
全体進行：朝日雅也さん(埼玉県立大学名誉教授)
- 3) 共に働くまちをめざす近隣自治体への提言2024発表

手話通訳：依頼予定

主催：NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会(代表理事・大塚眞盛)

連絡先：職場参加ビューロー世一緒 〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101  
048-967-1819 (FAX 共 7回コール要) [shokuba@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp)

# すいごごカフェ 11/13~12/11 のゲスト



11月13日(水)

野島 久美子さん  
障市ネット代表

## 公団住宅になぜ入ったか

一人暮らしは小さな借家からスタートしたが、諸事情で引越しを迫られ万事休す。市営、県営、公団住宅をあたるがハードルが高い。背水の陣で臨んだが・・・

11月20日(水)

水谷 淳子さん

医師

Lunch Café どっこいしょ

## 自分の体を信じて

コロナワクチン定期接種が開始。昨年日本人ほどくりかえし摂取した国民はない。副作用や超過死亡など、検証しないで接種に突き進んでいいの?!

11月27日(水)

森住 由香里さん  
せんげん台世一緒利用者

この日はせんげん台世一緒

## 社団ってなあに

社団に行くようになって、私に関わってるのは事務局会議、「若い衆会議」、「でるでるクラブ」・・・それってなあに?

12月4日(水)

大坂 富男さん  
障市ネット事務局

## 能登の生家から

地震と豪雨の二重災害に見舞われた能登半島・七尾の生家に被災後初めて行く事が出来た。壊滅的な被害を受けた故郷の厳しい現状と今後を含め共有したい。

12月11日(水)

神屋 隆俊さん  
かがし座会員、介助者他

## 誰一人取り残さない社会を

障害者介助に関わり地方大学で障害者福祉、街づくりについて教えている。住んでいる団地で、近年生きづらさを抱える人々と出会い考えていること。

すいごごカフェ(第1、2、4、5水曜)もLunch Café どっこいしょ(第3水曜)も、誰でも参加できるひろばです。Lunch Café どっこいしょは12:00からキッチンとまとのカレー(コーヒー付き300円)が食べられます(要予約)。13:30~15:00 ゲストトークがあります。

第4水曜はせんげん台の就労継続支援B型「世一緒」、ほかは東越谷の職場参加ビューロー世一緒で開催します。

職場参加ビューロー世一緒: ハローワーク越谷はず向かい

048-964-1819 [shokuba@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:shokuba@deluxe.ocn.ne.jp)

就労支援継続B型せんげん台「世一緒」: せんげん台駅西口イオン並び

048-971-8038 [dokkoisyo3116@yahoo.co.jp](mailto:dokkoisyo3116@yahoo.co.jp)

# うんとこしょ 一緒に働いてみたら

## 生活クラブ越谷センター共同除草

10月18日(金)午後、年に2回、就労継続B型事業所せんげん台「世一緒」が生活クラブ生協越谷センターから受託している同センターの除草作業が行われた。

\* \* \*

この作業は、せんげん台の利用者+職員だけでなく、越谷世一緒のスタッフたち、さらには生活クラブ越谷ブロック地域協議会に参加している諸団体のメンバー(支部、ワーコレ、市民ネット等)が共に参加して行っていることが特徴。結果として、せんげん台からの人数の倍以上で作業する。

そして、地域協議会の情報紙「こみゅ」や私たちのNPO法人のHP等で告知して行っている。そうした中で、今日は「こみゅ」を見た組合員が1人、そして私のfacebookを見たわらじの会関係者1人の参加があった。

「職場参加」というと、障害者が一般職場に参加するという面だけがクローズアップされやすいが、この例のように、職場・地域の側が障害者に参加するということにも、もっと注目すべきと思う。障害者の側にのみ着目していると、どうしても能力別にとか、段階的にとかいう話になってしまい、それ自体が新たな分ける仕組みと化していきかねない。

\* \* \* \* \*

終了後、参加者の自己紹介や近況と地域協議会の今後の予定について意見交換した。

職場・地域が障害者に参加するには、単に「差別があるから」というだけでは難しい。仕事とは離れたところでも言葉を交わしたり、一緒に地域で何かやったりする中で、びっくりしたり、ああそうかと思ったりする瞬間があるはずだ。(山下)



### しらこぼと笛

しらこぼとは、日本の天然記念物であり、埼玉県の県鳥です。また、越谷市の市の鳥でもあります。しらこぼとは翼長約7センチのかわいらしい鳩です。全体が灰白色で、首に黒い首輪があるのが特徴です。童謡の「はとぼっぼ」はこのしらこぼとの鳴き声だといわれます。越谷市で養鶏業が全国有数の生産を誇っていた1970年代までは、鶏舎の餌をついばんで、市内のそこそこで普通に見かけることができましたが、環境の激変とともに姿を消しつつあります。1980年ごろ、越谷市の人形師・ひな源の山崎昭二さんが、埼玉および越谷の郷土玩具として、「しらこぼと笛」、を製作しました。このはと笛は、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会の活動センター「世一緒(よいしょ)」のスタッフと協力者で絵付けを行いました。「しらこぼと笛」に、自然とまちと人々が共に生きてゆく願いを託して。



NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819  
越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

# たそがれ俳句

## 七五三年末年始までの稼ぎ時

少子高齢化で、ばあちゃん、じいちゃんが孫にこぞってお金を出す風潮なので、十一月は比較的天気もよく、七五三に便乗して稼ぐ人もいるのかなど。七五三は拡大しているのかな？とふと思いました。

## 憎い奴夕刊フジに秋の風

ロックバンドのブルーハーツが、夕刊フジ読みながら老いぼれてゆくのはごめんだと歌っていました。そんな夕刊フジも、来年一月で休刊だそうです。サラリーマンはどこに向かうのでしょうか。

## 白熊は負け越し幕から下がる秋 場所

白熊は冬ではなくて、夏の風物詩だったんですね。アイスキの鹿兒島産白クマは、やっぱりの夏の風物詩。お相撲の白熊もがんばって下さい。

## 猛暑酷暑台風秋を迎えに隣町

認知症の徘徊の理由、少しでも粹な言い訳を今からとききます。

第3週を除く木曜の四時頃から七時頃まで越谷の世一緒で開かれている立ち寄り場「たそがれ世一緒」の管理人・樋上秀の一日一句。最近の句から季節を遡って紹介しています。

## 炎天下孫と張り合う爺かな

夏休みは、孫と交流の機会なんです。夏休みがある日本は、とてもいいのだと思います。それにしてもくそ暑いので、くたばっている人も多いいはず。鈴木家のお孫さんとのライバル関係も、もう終わっているかもしれない。くそじじいがんばれ！

## 暑い寒い生きてる証し人間死 んだら何も言わん

母方のばあちゃんの名言。プロレスの猪木は強い馬場はとろいと続く。

## 老眼鏡かける身になり大村崑の 魅力を再確認する

樋上も明日還暦。

## あじさいしつとり濡れてぼくひ とり

これからのたそがれは、いつまで続くかわかりませんが、たそがれ俳句を毎回詠んでいこうと思います。

## 五月晴れうんちくたれる人ばかり

幼子がライトラインを二度見して青葉を揺らす風の季節に

開業から九か月、最近のライトラインの営業を見ました。事故やトラブルもなく、盛況のようです。

昭和と令和どちらがブラックか  
不条理にもほどがある

ひな壇の隣に大谷梅雨に消え

問題は、大谷ロスより食品ロス。

不老不死ではなく有老不死の現実

100・70問題がホラー映画になる時代。

豆の数鯖を読む春笑う鬼

能登地震から一か月、とりあえず間もなく立春以上。

情報化とりあえず死んだことになる社会かな

長嶋茂雄が死んだと思わせるようなニュースが流れました。でも、来月米寿の長嶋さん生きています。とりあえずONのちの樋上としては、ほっとしています。

# せんげん台世一緒だより

11月7日(木)

就労継続支援B型事業所、せんげん台世一緒の朝は、朝礼、そして自分たちのいる場所を自分たちできれいに、と行うことでお掃除をします。

その後、商店街を一回りウォーキングです。



今日のおもしろ講義は、温暖化はどうして起きるのか?では、世界中でどこの国がどのくらい二酸化炭素を出しているのかとすることをみんなで考えました。

後半は、先週収穫して乾燥していたレモングラスを、切って、計って、袋詰めして商品にしました。



午後は、週1超短時間農業です。

残っていた二十日大根の種を蒔いて、草取りをして、次回のために耕して。

今日の実習生も、女子ながら頼もしい!

アイちゃんは、柿の木の上から見物です。



11月8日(金)

毎週野菜を提供していただいている岡村さんの紹介で、ここ数年続いている、「ありがと米」をいただきに行ってきました。

見沼のたんぼで、省農薬でお米を作っている方達の団体で、毎年福祉施設に寄付をしてくださっています。

今年は20キロいただきました。

早速帰り道、無人精米所に寄って精米しました。明日からの、みんなのお昼ごはんになります😊💕

ありがとうございました。

(谷崎恵子)



## 2024年度会費、寄付ご納入ありがとうございました。

(五十音順、敬称略)

【正会員会費】会沢完、青木繁明、阿久津康仁、朝日雅也、有竹和子、内野かず子、大坂富男、大田ちひろ、沖山稚子、大塚眞盛、尾谷英一、黄川田仁志、木下恭子、佐藤邦弥、清水泉、谷崎恵子、辻浩司、辻彩子、友堅由紀恵、中山佐和子、野村康晴、橋本克己、長谷川颯、幡本洋子、原和久、樋上秀、平岩和好、正木敬徳、水谷淳子、水谷浩志、山崎泰子、山崎有子、山田裕子、吉田久美子、吉原広子

【賛助会員会費】岩崎廣司、上野豪志、佐藤恵美子、島根淑江、並木理、原田真弓

【団体会員】

【寄 付】植田恵子、大槻由佳、小野達雄、清水泉、田島玄太郎、田中利昌、野村康晴、長谷川颯、松尾晃史、吉田久美子、吉原広子

## 総合県交渉 「職場参加」の応援を県に要望



今年も8月22日、9月86日の両日にわたって、埼玉障害者市民ネットワーク主催の「総合県交渉」が開かれました。当会は「はたらく」分野の要望のとりまとめ役を担いました。

総合支援法の福祉サービスは、利用者を職業能力により分けて支援する効率優先の仕組みになっており、そのために営利企業が新規参入しやすく、急速に膨れ上がり、競争も激化し倒産も起きています。

これに対して、国連障害者権利委員会は、重度とされる人も含めて、地域の他の人々と同じ職場で一緒に働ける方向へ切り替えるよう、今の制度を全面的に改めることを、日本政府に勧告しているのですが、みな

さんご存じないですよ。

### せんげん台「世一緒」が具体例プレゼン

当日は、B型事業所せんげん台「世一緒」職員が、重度障害やひきこもり等さまざまなハンディを抱えた利用者を支援し、超短時間就労を含めた地域の職場への参加事例を紹介しました。そして、それが可能になった背景として、越谷市が障害者地域適応支援事業を毎年実施し、就労系だけでなくさまざまな障害者施設の利用者が職員等の支援を得て、市役所をはじめとする地域の職場で体験を行う事業を実施していること、県として他市町村でもこうした事業ができるよう支援してほしいと訴えました。

県の回答は、市町村の優良事例などを他市町村に紹介する、県の雇用総合サポートセンターでも短期雇用体験事業を実施している、市町村就労支援センターには会議などを通じて働きかけていくといった一般論に終わり、がっかりでした。

### 新座・ふらっとからも県へ要請

また、新座市の地域活動支援センターふらっとからは、市が長年実施してきた市役所での職場体験事業を中止したことに對し、やはり県としての支援を求めました。また、ふらっとや春日部市の地域活動支援センターパタパタ、草加市の地域活動支援センターめだか工房から、県が地域活動支援センター(サービス向上型)の補助打ち切りを決めたことに對し、撤回を求める要望をそれぞれ行いました。ちなみにこれらの地域活動支援センター(サービス向上型)は、国の障害福祉サービス市場の外部で、市町村事業に県単補助が行われてきたもので、それぞれの地域で「共に生きよう」と街のあちこちに出て行って、長年がんばってきた施設ばかりです。

県の回答は、有識者会議で結論が出てしまったら、部局の職員はそれに従って業務を行うしかない、必要性については発言させていただいたがというものでした。

かって県は「措置からサービスへ」と福祉施策が切り替わるときに、暮らしに密着した基礎自治体である市町村が「就労」にとどまらない「職場参加」の実施主体となる意義を重視し、全国的にも稀有な「市町村就労支援事業」を立ち上げました。

しかし、その後の福祉の市場化の中で、県独自の役割を見失い、国頼みの状況に流されていることを感じさせる回答に終始していたのは残念でした。今後も働きかけは続けます。

# すいごご

## FLASH

### ●2024年7月31日 藤崎稔さん(わらじの会代表)



「びょうにんで看護婦さんは、おれのことばがわからないから、こわかった。あとはよなかにあしがいたいから、おおきなこえをだす、看護婦さんはわからないから、むしをして、おれはがばんができないよ、

ききたいことがあります。学校でなにをならったの、あとは、のぞが描いた、言って看護婦さんは、言葉がわからないだから、疲れました。ベット中窓を見てはやく看護婦さんがこないから、県庁に話をします。」

藤崎さんがパソコンに入力した原文より。

### ●8月7日福島里美さん(跡見学園女子大学専任講師)



里親には養育里親、専門里親、養子縁組を希望する里親、親族里親の四種類ある。里親には一定の手当や里子の生活費が支給される。最近の傾向として、

不妊治療を受けていて、見込みがないとわかってから里親を希望するというケースが増えている。

20 数年里親支援に関わってくる中で、「専門家中心主義」から里親たちの経験や地縁の関わり等を活かす方向での「コミュニティ中心主義」に転換することの大切さに気付く、そうしたアプローチにより「養育のコツ」をまとめて地域へ情報発信するに至った。

### ●8月21日 日吉孝子さん(世一緒当事者ファシリテーター)



6月末に初めてコロナ(?)にかかりました。これまでの風邪とは大きく違っていた事は急に体が動かなくなったこと。このまま動けなくなり外出できな

くなるのではないかと一時は不安でいっぱい。

コロナだとヘルパーさんには5日程訪問を断られる中、世一緒やわらじの人が食べ物や飲み物を何度も差し入れてくれたり、連絡してくれればいいのにと言ってくれたことに感激しました。これまで人との関係や自分から助けを求める事の大切さを口にしてきた私ですが、それが身に染みて実感した日々でした。これからは以前にも増して人との関わりを大切にしたいと思います。

### ●9月11日 田島玄太郎さん(会社員)



2000年秋わらじの会を訪れた。障害のある人達と出会うのは初めてで、交わされる話が理解できず、自分がおかしくなると思った。もうやれないという体験を繰り返しながら、現在は親子

でわらじの会の行事に参加。父は診療所を作り、地域みんなのものにと医療生協にする。スローガンは「もっとも困っている人に手を差し伸べよ」だった。多分それがきっかけで山下さんに連絡を取りわらじの会と出会った。でも障害のある人達と付き合ってみると、自分の助けなど必要がなかったり、双方向的で逆に助けられていると思えたことも多かった。

### ●9月25日 コアラさん(せんげん台「世一緒」利用者)



20歳の時、「お前を殺す」という声が聴こえた。段々と両親もおかしいと思うようになり精神科に行った。入院中、患者同士の人間関係が苦しかった。父に退院したいと言ったら、先生に話してくれて、2日後に退院。作業所やコミュニケーションの場に行ったが、通えなかったり行かなくなったりした。主治医が別の病院に変わった時世一緒のチラシを見て、せんげん台世一緒を訪ねた。今はグループホームで生活しながら、世一緒に通っている。そんな私ですが、趣味は化粧。将来の夢は、デパートの地下でメイクしている人になりたい。

### ●10月9日 山崎有子さん With 伊原尚子さん



生まれた時は越谷で地元、小学校、中学校の一年は普通学級に行っていた。卒業後は学校に行かず働き、母が知っている会社の手伝いを20歳頃まで経験。その後色々仕事をして、ハローワークの人によいしょというところがあるから行ってみなと言われて、行ってみたらポスティングとかができて楽しかった。夏合宿、バザーの手伝いにも行っている。就労継続A型に入って、丸10年経った。友のさんとの出会いは、当番の活動で初めて「良かったら介助ないからどうかな」と言われて、始めた。朝介助や、夜介助もたまにやっている。

2024年11月～2025年1月 職場参加カレンダー (2024年11月29日作成)

11月		12月		1月	
	越谷世一精	せんげん台世一精	地域イベント等		
1日	金	地適実習開始4人	1日	日	越谷世一精
2日	土		2日	月	せんげん台世一精
3日	日		3日	火	地域イベント等
4日	月		4日	水	せんげん台世一精
5日	火		5日	木	地域イベント等
6日	水		6日	金	越谷世一精
7日	木		7日	土	せんげん台世一精
8日	金		8日	日	地域イベント等
9日	土		9日	月	越谷世一精
10日	日		10日	火	せんげん台世一精
11日	月		11日	水	地域イベント等
12日	火		12日	木	越谷世一精
13日	水		13日	金	せんげん台世一精
14日	木		14日	土	地域イベント等
15日	金		15日	日	越谷世一精
16日	土		16日	月	せんげん台世一精
17日	日		17日	火	地域イベント等
18日	月		18日	水	越谷世一精
19日	火		19日	木	せんげん台世一精
20日	水		20日	金	地域イベント等
21日	木		21日	土	越谷世一精
22日	金		22日	日	せんげん台世一精
23日	土		23日	月	地域イベント等
24日	日		24日	火	越谷世一精
25日	月		25日	水	せんげん台世一精
26日	火		26日	木	地域イベント等
27日	水		27日	金	越谷世一精
28日	木		28日	土	せんげん台世一精
29日	金		29日	日	地域イベント等
30日	土		30日	月	越谷世一精
			31日	火	せんげん台世一精

今回のカレンダーでは、越谷の世一精の自主事業だけでなく、法内施設であるせんげん台「世一精」の就労継続支援B型事業についても載せました。活動に興味がある方へ：見学歓迎です。ただし、せんげん台「世一精」の利用については、必要な市への手続き等について、ご相談に応じます。越谷の世一精は、基本的にボランティアです。/すいごこカフェは、街のたれもがその都度ゲストになり、自分の人生体験を語ったり、表現活動を行います。すいごこカフェは、毎週水曜午後後に開かれます。/たそがれ世一精は第3週以外の木曜4時～7時ごろの「おとなカフェ」です。せんげん台「世一精」の「地適実習開始」とは、越谷市障害者地域適応支援事業による市役所や企業等での職場体験事業のこと。8名がエントリしました。

# 世一緒スタッフ日記

## よいしょのでんわばん

友野 由紀恵

わたしはおおぶくろにすんでいる  
とのゆきえです。

よいしょのでんわばんまいしゅう  
きんようびしています。いまも、とう  
ばん、やっています。さいきんは、わた  
しが、よいしょのでんわばんぐあい  
わるくて、ねつでたりしてやすんで  
いました。

あさ、かいじよくるのは、じぎよう  
しよ、土よう日、日ちようびのあさは  
ともだちはいって来てます。きん  
ようび、どようびの夜じぎようしよ  
がはいってくれます。水ようびと  
だち、木ようびがくせいはいってま  
す。わたしが、よいしょに、きたこ  
ろ、でんわばんのしごとがあるけれ  
どどうですかと、はなしがあつて、よ  
いしょにでんわばんにくることにし  
ました。

## 好きな事をする

零ちや

私はいろいろな事にチャレンジす  
るのが好きです。とりあえず試して



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるためにして生きるために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。その後せんげん台に就労移行支援・就労継続支援B型多機能事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷と連繋)として、多様な就労やピアサポートを支援し地域で共に生きる輪を拡げてゆきます。

## またかお出しますので

越谷市 山崎 有子

6月16日、世一緒の総会のワ  
ークショップで、世一緒をなくさ  
ないで下さい、時々子ども食堂と  
かをやってください、おねがいし  
ます。

## できるクラブについて

だから私は好きな事ばかりして  
人生を楽しみたいと思っていま  
す。楽しんで生活するのも私の「好  
きな事」なのです。

埼玉障害者自立生活きよう会じ  
ぎようの一つとしてできるクラ  
ブがあります。埼玉のしようがい  
者団体が一緒に外に出てこうりゆ  
うをするきかくの一つです。今回  
12月14日にふかやのしづさわ栄  
一きねんかんいきます。

みんなで交流しながらのしみ  
ましよう。もうすこししたらさん  
かしゃめいぼをはりだします。

## しごとをみつける人

とくめいきぼう

仕事のためのよりどころについ  
て、いつかのよりどころにより、そ  
れぞれの都合によりそれまでのい  
くつものしじに対して、それから  
の指示をおおぐ、それもいつつも  
のためのそれからのしじに対して  
いくつものよりどころについてこ  
れからのいくつものおりかえし  
を、つづくしごとによりこれから  
をしのご、いくつもの仕事につ  
て、これまでのいくつものこたえ  
をこれまでの、やり方についてそ  
れまでのやり方について、それか  
らやりなおすおりかえしについ  
て、いつもの、おりかえしをそれま  
でにいくつもやりかたをつぐま  
でになる。

それまでのしごとに、やりつづ  
けるこたえ方によって、いくつ  
のしごとによって、これまでのし  
ごとにおけるじかんをつくってい  
つもにより仕事をへらさなくして  
しまふ、答え方について、これか  
ら、このままにしてしまふ、仕事り  
よう、これまでも×○

二〇二四年十一月四日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻五五五五号 頒価二百円  
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認  
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒333・0851 川口市芝新町十五―九 アステール藤野1F